



# 2013年11月号 農山村ネットだより

私たちの子や孫が住み続けたいと思う 帰りたいと思うそのような「山里」にしたい。訪れる人がまた来てみたいと思う 住んでみたいと思うそのような「山里」にしたい。そのような「山里」の山・川・里で自然にふれ山仕事をして野良仕事をして人と交わることが幸せだと思う。そんな輪（ネットワーク）を広げたい。

「とよた都市農山村交流ネットワーク」は、豊田市の農山村地域で「交流」というキーワードで地域の活性化をはかる活動をしている様々な個人や団体のゆるやかな集まりです。

## 11月のPICK UP!!

### ほんまもん体験をするセカンドスクール

10月1・2・3日に五ヶ丘小学校四年生21人が旭と足助でセカンドスクール。先生方と何回も話し合い、受け入れ農山村の方々とも打合せて実施してきました。各家庭に3人から4人の子どもたちがホームステイ。学校ではできない大切な農山村体験をしました。

さて、セカンドスクールには2種類あります。

①学校単位で学年の全ての子どもたちが学校教育として参加する「セカンドスクール」。合併の理念、「都市と農山村の共生」のひとつの試みとして豊田市が平成18年から実施してきました。18年度19年度は農政課と各支所が連携して、大林小学校（五年生125人）、根川小学校（五年生59人）を受け入れました。その後、「とよた都市農山村交流ネットワーク」が結成され、農山村での地域づくりとして自ら事業を担っていきこうと、市と共に、学校の受け入れをしてきました。20年度は旭小学校（五年生92人）、21年度は古瀬間小学校（五年生63人）、22年度は古瀬間小学校（五年生51人）と五ヶ丘小学校（五年生26人）、23年度は五ヶ丘小学校（五年生33人）と五ヶ丘東小学校（五年生18人）、24年度は五ヶ丘小学校（四年生と五年生42人）、今年度は五ヶ丘小学校（四年生21人）。市の補助率は23年度まではほぼ100%でしたが、24年度から80%、25年度は60%になっています。今年度については農山村ネット事務局手数料を使って、昨年度の保護者負担率を何とか維持しています。学校の学年すべての子どもが参加することから、保護者負担は学校側としてはとても重要な配慮事項となっているからです。保護者の所得にかかわらず、学校教育の一環として学年全員が参加するセカンドスクールにおいて今後検討すべき事項となっています。

②もうひとつは、学校が休業日の日に希望する子どもたちの農山村体験をするセカンドスクール「フリー版」です。昨年度から実施しはじめました。今年の「夏休み・フリー版」では150人の子どもたちが農山村体験をしました。希望する家庭の子どもが対象ですから、グリーン・ツーリズム、エコ・ツーリズムとして地域づくりをしていくのが主眼となってきます。今年は市教育委員会の協力で市内全小学校で配布、募集。稲武地域会、小原地域会、足助地域会、松平地域会、事務局企画で募集。短期間に700件以上の参加申込が殺到。定員をはるかに超える応募に、お母さんお父さんはじめ市民の農山村体験への期待を感じます。下山地域会ではいままでのつながりを活かしてスイミングスクールの子どもたちを受け入れました。小原7月27・28日 13人。事務局7月31日8月1日 15人。稲武8月6・7・8日 27人。松平8月10・11日 11人。小原8月10・11日 14人。下山8月11・12日 43人。足助8月26・27日 12人。事務局8月28・29日 15人。

さて、2種類のセカンドスクール。どちらとも、こどもの先生や親とはちがう田舎のおじさん、おばさんとすぞす…、自然の楽しさときびしさや危険もリアルに知る…、ゲーム機やテレビからはなれて「ほんまもん体験」をする…。

農山村を愛し誇りに思う「心」、未来を担う子ども達の成長を願う「心」が2種類のセカンドスクールを共に支えています。

(文：山本薫久)

# 地域会からの便利なコーナー

旭、足助、稲武、小原、下山、松平の各地域会から活動の様子や企画のお知らせをお送りします。

## 稲武 地域会

### 講演会のお知らせ

文：山里 Cyafe 仁熊信子

農村産業 農業とその販売の新しいスタイル

「人で商品の魅力を何倍にも引き出す方法」

講師 伊賀の里モクモク手づくりファーム取締役社長

木村修氏（経済産業省認定 地域おこしに燃える人）

日時 12月3日（火）開場午後6時 開演午後6時30分

場所 稲武交流館図書棟2階

入場無料

対象 どなたでも 農産物を作っている人、売っている人、  
農産物加工をしている人、地域を元気にしたい人 etc

主催 いなぶアグリ・ルネッサンス

（農業や農産物加工をしている若手？有志の集まりです）

問合せ先 山里ちゃふえ 0565-83-3003



稲武のモミジは香嵐溪のように大規模ではありませんが、その鮮やかさは見事です。大井平公園だけでなく、タカドヤ湿地という知る人ぞ知る紅葉の穴場もあります。どうぞ稲武にも紅葉狩りにおいでください（11月中旬が見頃です）。

## 若い力！秋の小原

文：西村自然農園 西村文子

## 小原 地域会

最近、小原にコレカラ商店がオープンしました。3年ほど前に小原地区にやってきた若者達が共同で空き倉庫をリフォームして作った心地よいナチュラルな店で飲食・物販・イベントです。いろんな方が集まりコレカラを語る場になるよう応援してゆきます。小原地区にはここ2～3年の間に10家族近くが1ターンで入ってきています。サラリーマン、家具職人、大工、アーティスト、食工房など仕事は様々ですが、自然豊かな農山村での暮らしたいという想いの心優しい方たちです。まだたくさんの若者が小原地区に来たいのですが、家が無いのが一番のネックです。住居対策がんばりましょう！

9月末に西村農園で出会いの会があり未婚の男女が多数参加してくれました。研修生の知ちゃん为中心となり、楽しく盛り上げてくれました。地域に若い人のセンスとエネルギーが必要ですね。また11月16日に第二弾の出会いの会をやります。おいしい秋ピザ、焼き芋を作り、良い夢をキャッチできるようにドリームキャッチャーづくりなど計画しています。11月の小原は四季桜が美しいので、ぜひ見に来て下さいね。西村農園のすぐ下が四季桜発祥の地です。記念碑もたってますよ。

## 先人の知恵に基づく生活づくりのデザインプログラム

文：鈴木正晴

旭  
地域会

今年も、千葉大学の学生と大学間協定を結んでいるフィンランドのアールト大学芸術デザイン建築学部の学生12人が、9月24日～28日の日程で豊田市を訪れました。今年度は、1日目は、すげの里を拠点に、2日目以降は、太田町の板取の家を拠点にして「先人の知恵に基づく生活づくりのデザインプログラム」をテーマに調査し、28日には、豊田市太田町の太田区民館で、まちづくりの提言を発表しました。

この交流を通し、旭地域会のメンバーが俵作りに挑戦しました。フィンランドの学生たちに体験してもらうためです。とはいってもできる人はありません。そこでお年寄りのできる人を探し、事前に講習会を開きました。講師の手ほどきで何とかできるようになりました。

9月26日、学生たちと俵作りの挑戦が始まりました。ワラを槌でたたき柔らかくして、15メートル前後の細縄をなうことから始まりました。それができると外の筒となるコモ作り。ワラを交互に置いて先ほどの細縄で編んでいきます。最後に両端を結んで完成。できたところで、筒の直径に合わせて上下の蓋となる「さんだわら」作り。三つ編みの手法を使って円形の蓋が完成。これを筒に細縄で縫いつけて俵のできあがりです。

学生たちは終始熱心に取り組んでいました。発表会では、これを活かした商品開発の提言もありました。母国に持ち帰りたいといって、できた俵を大事にしている姿に、やってよかったと思いました。

今、農山村から先人が編み出した技術や文化が消えつつあります。先人たちは、身近にあるものを使って生活を紡いできました。この交流を通し、まだ、そういう技術を持っているお年寄りがいる間に、受け継いでおきたい、そして、後世に伝えていきたい、しみじみとそんな気持ちになりました。



## 《五ヶ丘小学校のセカンドスクール》

文：あすけ里山ユースホステル 小川光夫

足助  
地域会

今年も、足助地区（新盛町と椿立町）で10月1日（火）～3日（水）にかけて、五ヶ丘小学校4年生男子4人、女子4人の受け入れをしました。一日目、すげの里で受入式を済ませた後、薪を燃やしてお釜でご飯を炊き、各自塩むすびを作りました。自分でおにぎりを握ったことがないようで、みんなそれぞれな形のおにぎりが出来、それはそれで美味しかったようです。午後は、大鷲院で座禅体験と火車（この土地に伝わる化け猫伝説）の足跡を見に山登り。このハイキングはとても楽しかったようで、最終日まで「もう一度山登りをしたい」というリクエストが有りました。2日目の昼食は本格的ピザ窯でのピザ作り。女の子が考えたピザ生地にリンゴのスライスを載せて焼いたピザは好評でした。畑体験では、収穫時期を迎えたサツマイモ掘り。イモが大きかったのでみんなびっくり。焼きイモにして頂きました。夜は、プラネタリウムを見た後、星空観察。みんな星空には大変興味を持ったようでした。最終日、人工林（スギ・ヒノキ）の皮むき間伐を体験。間伐の必要性や皮むきの方法の説明を受けた後、班ごとに分かれて皮むき開始。この時期、木が水を落としているのでちょっと剥きにくかったようでしたが、みんな熱心に取り組んでくれました。来年もまた、少しでも多くの子もたちに農山村の暮らしを知ってもらえるよう、足助地域会のメンバーでいろいろ考えて行きたいと思います。



## 《香嵐溪—もみじ祭り開催中》

期間：11月1日（金）～12月1日（日）

期間中いろいろなイベントが催されます。また、日没から午後9時まで、飯盛山のライトアップもされていますので、是非お越しください。

これは、「栗きんとん（写真）」です。恵那の物ではありません。西村自然農園で、山里学校の講座で参加者が作ったものです。味もよかったです・・・秋ですね・・・

10/27「秋、野山の恵みをいただく」講座が開かれました。「自宅の冷蔵庫を開けると、マヨネーズ、ポン酢、めんつゆ等が、溢れています。この講座で、素材がいかにかいじか・・・痛感しました」とは、参加者の感想です。栗ごはん・コンニャク・里芋のコロッケ・秋満喫です。今年の山里学校は、春・夏・秋と3回目、季節をよく感じれます。

冬には、発酵物の講座も計画されそうです。お楽しみに・・・



## ネットワーク会員募集中

山里から知恵を学び、山里の豊かな自然や文化を次の世代に受け継ぎ、山里での暮らしを大切に生きる。山里でいろいろな交流をしてみたい方、昔ながらの知恵を学ばせてくださる方、花木や昆虫などの物知りさん、体験の受け入れをしてみようと思われている方、お手伝いをしてみたいという都市部の方、どんな方でも参加できます。

皆さんと一緒に楽しみましょう！

年会費 500 円 ネットだよりを隔月発送します。

## 編集後記

今年の秋はホント雨が多かったですね。うちの田んぼも11月にはいつてからやっと脱穀ができました。

さあ、冬支度を急いでやらなくっちゃ。今年から薪ストーブも置く予定。季節の移り変わりにあわせて、暮らしのリズムをきざんでいきます。



## 発行元

とよた都市農山村交流ネットワーク 世話人代表 山本薫久

〒444-2816 豊田市杉本町三斗成 1-3 tel&fax 0565-68-1113

mail : nosanson@hm10.aitai.ne.jp HP : <http://www.toyotasanson.net/>

